



# なは市

広報

市民の友

第794号毎月1日発行  
2017年(平成29年)

3月

市の人口と世帯	
※( )内はうち外国人	
2017(平成29)年1月末現在	
総人口	324,301 (4,154)
男	157,399 (2,377)
女	166,902 (1,777)
世帯数	149,469 (2,877)

発行 那覇市  
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号  
☎(代表)867-0111  
印刷 光文堂コミュニケーションズ(株)  
配布 那覇市シルバー人材センター

## うとっいむちの心 あふれる観光地へ

(おもてなし)

### ～国際通りの迷惑行為への取り組み～

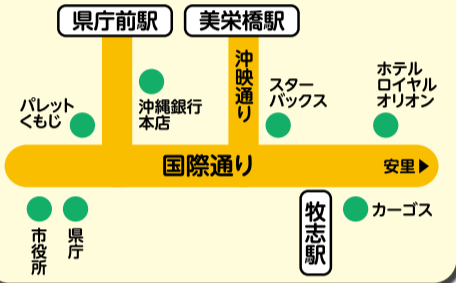


国際通りとその周辺地域は、多くの人々が行き交い、商業の中心として発展してきました。近年では多くの観光客で賑わいを見せており、再び訪れなくなるような、さらに魅力のある観光地づくりが求められています。

そこで、市では、平成27年4月に「めんそーれ那覇市観光振興条例」を施行しました。

条例では、看板などの違法な設置、車両の違法な駐車、嫌がる観光客への付きまとい・客引き行為などを迷惑行為と定め、国際通り、沖映通り、パレットくもじ周辺を「迷惑行為防止重点地区」に指定しています。

#### 迷惑行為防止重点地区(オレンジ色の部分)



雑然とした  
むつまじき交差点も、  
スッキリ広々♪



Before



After

昨年4月より、重点地区において指導員による違法な看板や車両の撤去などの要請を開始しました。今年1月末までの10か月間、ほぼ毎日活動を実施した結果、看板などの撤去を要請した442件の店舗のうち、341件については是正していたことができ、迷惑行為が目立って

市民と観光客が  
ともに楽しむ国際通りに



●那覇市国際通り  
県庁駅前商店街振興組合  
事務局長

●一般社団法人  
ジャパンショッピング  
ツーリズム協会  
沖縄支部 特命マネージャー  
瀬底 幸江さん

「国際観光都市那覇」と呼ばれるまちに  
国際通りは、那覇空港からモノレールで約20分。若狭のクルーズ船ターミナルからは歩いて行ける距離にあります。こんなに便利な立地は日本の観光地なかでもめずらしいと思います。

「国際観光都市那覇」と誇れるまちをめざすなか、その顔となる国際通りが、誰もが心地よく過ごせる場所になることを願っています。

#### 多言語「国際通りイラストマップ」作成!

国際通り商店街振興組合連合会では、初の多言語イラストマップを作成しました。海側を基点にすることで、空港やクルーズ船から訪れた観光客から見やすく、またジャバラ式で使いやすいと大好評。韓国や台湾、シンガポール、タイへも送付し配布準備中です。



配布場所：那覇市観光案内所、市内各ホテルなど

国際通りは、市の観光資源の中では首里城公園に次いで観光客からの認知度が高く、戦後復興のシンボルとして市民の生活を支えてきた県内有数の観光地です。今後も店舗のみならずと協力しながら、貴重な観光資源である国際通りを大切に守っていきます。

市民のみならずには、今後の国際通りの変化にご注目いただき、うとっいむちの心あふれる通りとなるよう、ご理解とご協力をお願いします。

市の観光のさらなる発展、  
成長のために

た国際通り・沖映通りでは、特に大きな変化が見られました。条例の趣旨にご賛同・ご協力くださり、ありがとうございます。

その一方で、協力を得られない店舗も一部に存在しています。これらに対しては、今後とも粘り強く条例の趣旨を説明し、是正を要請していきます。



お問い合わせ 観光課 ☎862-3276

#### 主な紙面

- うとっいむちの心あふれる観光地へ……………1
- 平成29年度施政方針……………2
- 空家等に関する条例施行/情報バック……………3
- 博物館トピックス/ニュースダイジェスト……………4
- ………………5
- ………………6
- ………………7
- ………………8

那覇市長  
城間幹子



健康で元気に過ごすために、日頃から自分で気をつけていることはありますか？  
年齢を重ねても、住み慣れた地域で、自分らしく心豊かに暮らしたいというのは、だれもが願うものです。そのためには、日ごろから自身の健康づくりを意識し、自ら介護予防に取り組み、地域で支えあつていくことが大切です。

今、本市では住まい・医療・介護・介護予防・生活支援が必要に応じて提供される「地域包括ケアシステム」の構築に取り組んでいます。その柱のひとつが、今年4月よりスタートする「介護予防・日常生活支援総合事業」です。この事業は、65歳以上すべての市民の介護予防を目的とし、一人ひとりの状態に合わせた介護予防や生活支援のサービスが利用できます。また、市内には住民主体の介護予防サークルが少しずつ増えており、高齢者の方々が自らの健康づくりに楽しく取り組んでいます。私も地域のサークルに参加して、市民の皆様と一緒に体力づくりをすることが今年の目標のひとつです。

市民の皆様、地域の「ちゅいしーじ(むこう三軒両隣り)の絆」を紡ぎ、いつまでも住み慣れた地域で楽しく暮らせる那覇市を一緒につくっていきましょう。

ゆたさるぐとぅ  
うにげーさびら。

#### 市長室

ばいばい！ 幹子やいびぐん  
……地域で支え合い「がんじゅう」なまちづくり